6月定例記者会見 市長あいさつ

皆さまこんにちは。

関東地方が6月10日に梅雨入りしてからも、連日のように厳しい暑さが続いていました。今週に入って台風2号が発生するなど、梅雨の時期特有の不安定な天候が続くようになりました。

梅雨の時期は、湿度が高く、気温の変化も大きいいため、体調管理には十分に注意が必要でございます。特に、熱中症については、晴れた暑い日だけでなく、雨の多いこの梅雨の時期にもリスクがございます。

湿度が高いと、汗が蒸発しにくく、体温調節が難しくなるため、結果として熱中症を引き起こす可能性がございます。

涼しく感じる日でも、こまめな水分補給や休憩、そして室内環境の調整などの対応をお願いをいたします。

熱中症対策として、市内公共施設などにクーリングシェルターを開設しているほか、23日月曜日から、本庁舎1階玄関ホールにウォーターサーバーを設置しております。

開庁時間内であれば、無料で冷たい水を利用できます。暑さ対策と水分補給に注意しながらお過ごしいただきたいと思います。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、「保育士のための「とりで手当」はじまります」についてです。

市では、市内の民間保育園や認定こども園などで働く保育士や幼稚園教諭、看護師、調理師に対して、最大20万円の補助金の支給を今年度から実施します。

補助金は、民間保育園などに今年度新規採用された保育士などに対する「新規採用保育士等応援補助金」と、勤続年数に応じた「保育士等勤続功労補助金」の2種類を支給いたします。

この補助金を支給することで、民間保育園などの安定的な保育士等の確保と、保育士資格を持っているものの保育現場から離れている方の再就職支援に繋がることに期待しております。

次に、「夏休み企画 中学生のための保育の魅力体験」についてです。

市内の中学生を対象に、夏休み期間中の2日間、保育園や認定こども園をまわり、保育の魅力を体験していただく企画を実施します。

2日間それぞれ、市内の保育施設を訪問し、実際に園児との交流を体験したり、園児と一緒に給食を食べたりする

など、保育体験を通して、保育の魅力に触れていただく内容となっております。

中学生を対象としたこの企画は、取手市として初めての試みとなります。

幼児教育や保育施設での仕事を中学生に体験していただくことで、保育の魅力や地域の子育て支援に興味を持ってもらうとともに、将来の夢や進路を考えるきっかけにさせていただければと思っています。

以上で、私からの説明を終わります。